

令和4年度（2022）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹コンピュータカレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹コンピュータカレッジ 学校関係者評価委員会は、令和3年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、ご報告致します。

令和5年 3月 9日

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹コンピュータカレッジ
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて専門学校穴吹コンピュータカレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹コンピュータカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

山下 達雄	香川県立高松東高等学校校長
小川 幸彦	元高等学校校長
石元 啓介	株式会社穴吹カレッジサービス ソフト開発事業部
田中 雅子	株式会社たかせんテレコム 業務部
細川 翔登	株式会社ジーン
島 薫	本校卒業生
富田 武久	本校在校生保護者

(学校教職員)

篠原 達司	専門学校穴吹コンピュータカレッジ	校長
森川 和哉	専門学校穴吹コンピュータカレッジ	副校長
塩田 和正	専門学校穴吹コンピュータカレッジ	教務課長
榎本 靖之	専門学校穴吹コンピュータカレッジ	教務担当課長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和5年 3月 9日(木) 10:00~12:00

開催場所 学校法人穴吹学園 専門学校穴吹コンピュータカレッジ テクノホール

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和3年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不

十分である の4段階にて評価。

5. 校長より本校を取り巻く状況について説明

①卒業式

今年度はレグザムホールの大ホールに全員が入る形で執り行われる。

②就職状況

本校の就職希望者は全員内定した。

売り手市場のため、希望通りに進んだ学生が多い。

来年卒業予定の学生についても、県外有力企業から学校への声掛けがある。

6. 添付資料について説明

①自己評価報告書について

本校自身で行った自己評価について学校をサポートしている皆様から意見をいただきたい。

目標達成状況について「国家試験合格率50%」は未達成（30%）。

卒業時アンケートで「総合的にいい学校だ」の割合70%は達成した。

○外部委員より意見・質問

①小川委員

資格取得の目標達成率が低いのは何故か。

→例年、高い目標を設定しているのに加え、

試験の制度改定により対策が難しくなったのが原因と考えている。

②田中委員

穴吹学園の内定の仕組みは昨今の売り手市場に合っているか。

→社会情勢を踏まえ検討の余地がある。

③石元委員

報告書の評価基準についてだが、どのような基準で評価しているのか。

→穴吹学園各校共通の評価基準で評価を行っている。

学校によっては評価基準が当てはめ難いケースもあるので、今後の課題である。

④細川委員

教員の能力向上施策について教えてほしい。

→穴吹教育総合研究所が授業評価をしており、分かりやすい授業の実施ができるようにしている。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上